

永原学園地域子育て支援センター  
**さんこう・ぽぽらだより**  
 令和5年11月発行・第199号  
 認定こども園西九州大学附属 三光保育園  
 TEL:0952-31-6877

### 11月のお楽しみ

体の機能をいっぱい使って頑張った運動会が終わると、芋ほりに出かけたり冬野菜を植えたり、稲刈りをしたりと、周囲の自然物に目を向けた活動が充実しています。10月末のハロウィンでは色々な方からかぼちゃの贈呈を頂き、先生たちがかぼちゃに仕掛けをして、楽しんでいました。怖い行事にはいけないということで、今では、とっても楽しい行事に転換したハロウィンです。

三光幼稚園・三光保育園では、名物のダイナミックなごっこ遊び“おまつり広場”に向けた取り組みも始まっています。クラスごとにお店で売る商品も製作中です。年長さんはこれに加え、クッキーづくりも控えていて、大活躍です。最近の園庭には、時間差をつくって、0歳児もデビューしています。砂場に座り込んで、ひたすら砂を触って感触を楽しんだり、お玉でボールに入れてみると、自由に使えるようになった自分の手足を使うのがとても嬉しい様子が伝わってきます。

今月は遠足も控えていて、子ども達のお楽しみはまだまだ続きそうです。11月は七五三のお祝いもありますね。外に出かけて、晩秋をたくさん楽しんでください。

(三光保育園 園長)

10月は芋ほりに行ったり、ハロウィンパーティーをして楽しみました♪  
 秋が深まり涼しくなってきた、運動場では秋の風を感じながらお友達とたっぷり遊んで活動しています。

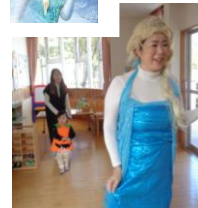
### 【芋ほり】



たくさん  
掘りました♪



### 【ハロウィンパーティー】



### 「シニアサロンぽぽら」

子育て支援センター「さんこうぽぽら」では、月に1回地域の方におこし頂き楽しいひと時を過ごしています。お茶とお菓子を頂きながら、おしゃべりや物づくりを楽しみませんか？ **日時：11/2(木)・12/15(金)**

9月は初めて分園 PINO でシニアサロンを開催しました！シニアさんと昔遊びを楽しんだり、歌を披露しましたよ♪



### 11月・12月の「子育て支援事業」のお知らせ

#### ① 実施日

- ・11月9日(木)…なかよしミックス(絵具)
- ・11月13日(月)…赤ちゃんの日(足形アートクリスマス)
- ・11月17日(金)…食育講座 先着8組
- ・11月24日(金)…環境講座(エコプラザ)先着10組
- ・11月14日(火)・20日(月)・22日(水)…フリーデー

- ・12月6日(水)…東与賀よかよかスクール
- ・12月11日(月)…赤ちゃんの日(クリスマス)
- ・12月20日(水)…なかよしミックス(クリスマス)
- ・12月21日(木)・22日(金)・25日(月)…フリーデー

#### ② 時間：10時～12時

#### ③ 開催場所：三光幼稚園・保育園の運動場・子育て支援センター

※事前の電話での申し込みが必要です。

11月の申し込み 11/1(水)～ 9時半～17時  
 12月の申し込み 12/1(金)～ 9時半～17時

- ※赤ちゃんの日は兄弟児の参加はご遠慮下さい。
- ※フリーデーは予約は必要ありません。ご都合が付く日にご来園ください。
- ※感染対策にご協力ください。
- ※詳しくは「さんこうぽぽら」ホームページをご覧ください。

### ♪育児相談・食育相談をしています♪

三光保育園及び三光幼稚園では、育児・食育相談を受け付けています。お気軽にお申し込み下さい。  
 ※毎月第3火曜日の14時～16時までは、西九大短大部教員による食育相談を行っています。  
 事前にお電話でお申し込みの上、ご利用下さい。

### さんこう・ぽぽら(園庭を含む)開放の時間帯について

- 【開園日】0月～金(祝祭日・お盆・年末年始を除く)
- 【時間】09:00～12:30
- ・園行事の為、ご利用できない場合があります。
- ・出前支援の場合は、担当職員が不在になります。
- 12:30～13:30 昼休み・準備の為閉園
- 13:30～16:00
- ※この時間帯のご利用の場合は、電話での申し込みをお願いいたします。

スマホ守りより、創造的な遊びをお子様とご一緒に。

西九州大学看護学部 准教授 大家さとみ

秋も深まってきましたが、皆様は「芸術の秋」「スポーツの秋」「食欲の秋」等どんな秋を楽しまれていますか。日が暮れるのが早くなり、夕食の準備や急ぐ用事がある時などにお子様ぐずったら、ついスマホの映像を見せてしまうことはありませんか？

子供の脳と発達について研究をされておられるお茶の水女子大学名誉教授の内田伸子先生は、「スマホに子守をさせると脳が委縮してしまいます。子供の脳を刺激する知的な遊びを取り入れましょう。それによって、子供たちの知能はぐんぐん伸びていきます」と指摘されています。アメリカの発達心理学者が2ヵ月～24ヵ月の乳幼児1800名の言語発達や知能について6年間追跡調査した結果によると、「スマホなどの映像を1日1時間以上視聴させていた群は、言語能力が遅れていたという共通点が見つかった。」そうです。

iPhoneやiPadを世に送り出したアップルの創業者の一人であるスティーブ・ジョブズ氏は、自分の子どもにはこれらの製品を使わせず、他のデジタル機器も触れる時間を厳しく制限していたそうです。また、マイクロソフトの創業者の一人であるビル・ゲイツ氏も自分の子どもたちには14歳まで携帯電話を持たせず、夕食のときは取り上げていたそうです。このようなローテク子育ては、これらシリコンバレーの成功者だけでなく、欧米のハイテク企業のトップたちも身体活動や、芸術、体験学習などを重視し、12歳未満の使用を禁止する子育てを行い、スマホ等の害からわが子を守っていたそうです。

また、東北大学加齢医学研究所教授の川島隆太氏も、著書「スマホ依存が脳を傷つけるデジタルドラッグの罠」の中で、「子どもの脳はスマホの影響を受けやすい。デジタル機器の早期からの使用で、思考やコミュニケーションを司る脳の知的中枢である前頭前野の活動が抑制される。」と警鐘を鳴らしています。

最初にご紹介した内田伸子先生は、「子どもの知能は、親子で一緒に指先を使ったクリエイティブな遊びをすることで伸びていきます。子ども自身に考えさせる遊びを体験させると子どもの目の輝きがどんどん変わっていきます。」とも言われています。子どもが好きな積み木での見立て遊びやごっこ遊びの中で、たくさん想像力を働かせることにより、言語能力等の発達を促していくのではないのでしょうか。

私は4歳と2歳の孫の興味（要求）に応じて、積み木やブロック遊び、砂遊び、ボール投げ、絵本の読み聞かせなどを一緒にするのが楽しみです。遊びの中でいろいろなことを創造し、言語能力が高まっていくことを実感しています。

お忙しいとは思いますが、特に脳の発達が著しい乳幼児期はスマホ守りに頼らず、少しだけ手を休めて、お子様との手先を使った遊びを増やしてみられませんか。親子の会話が弾み、お子様の言語能力も向上するのではないかと思います。